

2009年6月29日
東京海上日動火災保険株式会社

－東京海上日動・第三期マングローブ植林事業－
「マングローブ植林事業5カ年計画」を策定

東京海上日動火災保険株式会社（社長 隅 修三）は、2009年度からの「マングローブ植林事業5カ年計画」を策定いたしました。この5カ年計画では、これまでに植林を行ってきた東南アジア5カ国（タイ・ベトナム・インドネシア・フィリピン・ミャンマー）および南太平洋のフィジーに新たにインドを植林地域として加え、5年間で合計2,300ヘクタールの植林面積を目標に掲げ植林事業を展開してまいります。

1. 「マングローブ植林事業」について

マングローブは、多くのCO₂を吸収することで「地球温暖化の防止・軽減」に役立つだけでなく、植林地域の生態系の保全や津波に対する防災の役割も果たしています。

当社は、「マングローブ植林事業」を100年間継続していくことを目標に掲げ、「地球の未来にかける保険」として1999年度より「マングローブ植林事業」を展開しています。「財団法人オイスカ」、「マングローブ植林行動計画」をパートナーとした植林プロジェクトを10年間継続しており、その植林面積は2009年3月末時点で5,901ヘクタールにまで広がりました。2009年度からは植林地域に新たにインドを加え（パートナー：「国際マングローブ生態系協会」）、5年間で合計2,300ヘクタールの植林面積を目標に掲げ植林事業を展開してまいります。

あわせてお客様にもマングローブ植林活動に参加いただける「Green Gift」プロジェクト^(※)を展開しており、従来以上に「マングローブ植林事業」を強力に推進していきます。

^(※)「ご契約のしおり（約款）」を「冊子」ではなく、「ホームページ」でご確認いただく方法（「Web約款」）にご賛同いただいた場合に、当社が契約1件につきマングローブ2本の植林費用に相当する金額を、植林を行なうNGO等に寄付する活動です。

2. 「地球温暖化の防止・軽減」に向けた取り組み

当社は、地球温暖化の問題に総合的に取り組む第一歩として、2007年11月に「地球温暖化に関する総合プログラム」を策定し、事業活動に伴う「CO₂の排出削減」に向けた取り組みや、「保険事業（商品・サービス）」、「環境啓発・社会貢献活動」等を通じた取り組みを一層強化していくことで、「地球温暖化の防止・軽減」に関して積極的な役割を果たしていくことを宣言しています。

（「地球温暖化に関する総合プログラム」における主な取り組み）

(1) 「CO₂の排出削減」に向けた取り組み

自助努力としての「CO₂の排出削減」と「グリーン電力購入」により、2008年度から2012年度までの5年間でCO₂の排出量を2006年度実績対比で6%削減します。

(2) 「カーボン・ニュートラル」に向けた取り組み

当社は、事業活動に伴う「CO2の排出削減」に向けた取り組み、「グリーン電力購入」、「マングローブ植林事業」によるCO2の吸収・固定化や「排出権」によるオフセットの取り組みにより、昨年、国内の事業所全体において「カーボン・ニュートラル」への移行を完了しています。今後は、「マングローブ植林事業」の継続的な展開等を通じて、当社および国内のグループ会社全社において「カーボン・マイナス」への移行を実現します。(2010年度予定)

(3) 「みどりの授業 ～マングローブ物語～」

「マングローブ植林事業」に関連して、2005 年度から「みどりの授業～マングローブ物語」(地球環境教育プログラム)を国内全国で実施しています。これは、社員や代理店が小学校等を訪問し、総合学習の時間に「地球温暖化防止」や「生態系保護」をテーマとした出張授業を行う取り組みです。これまでに約 200 校で実施し、授業を受けた子どもたちは約 15,000 名、講師を務めた社員・代理店は約 600 名となっています。

(4) 「こども環境大賞」

未来を担う子どもたちに、大切な地球環境に対する関心を高めてもらうことを目的として、2008 年度に「こども環境大賞」を実施しました。子どもたちの身近なことをテーマとした絵・作文を募集し、大賞・優秀賞の入賞者については沖縄県西表島でマングローブ植林を実際に体験する「親子エコ体験ツアー」に招待しました。

以 上